

平成25年度特定非営利活動に係る事業計画

平成25年4月1日～平成26年3月31日

認定NPO法人宝塚NPOセンター

(1) 事業実施の方針

① 市民参画事業

宝塚市においては「協働の指針」が策定され、市民と官との協働が動き出します。今、市民は「新たな公共」の“担い手”としてあるべき姿を問われています。そのため、市民活動促進支援事業を宝塚市から受託し、NPO法人の設立・運営相談、コミュニティ・ビジネスの起業・経営支援、まちづくり協議会の自主財源確保に向けた支援、並びに行政との協働環境の構築に向けた検討業務等を実施するとともに、24年度から始めた毎月1回、色々な立場の市民が集う「きょう・どう？井戸端会議」をより活性化していきます。

② NPO法人・コミュニティビジネス設立・コンサルティング・雇用創出事業

兵庫県の「コミュニティ・ビジネス等総合支援事業（生きがいごとサポートセンター事業）」を受託し相談者のペースに合わせたNPO法人等のコミュニティ・ビジネス起業支援、団体運営相談、コミュニティ・ビジネスへの就業支援、無料職業紹介事業などの事業を実施します。特に25年度はシニア・団塊世代の地域参加に力をいれ、シニアの地域参加交流会や兵庫県内におけるコミュニティビジネス事例視察などを行います。

現在、日本におけるニート（15～34歳）の数は、若者が減少しているにもかかわらず60万人となり、39歳までの無業者を加えると80万人を上回っています。さらに、無業であることが長期間続くと、社会との接点が限られ社会参加が困難になる傾向が見受けられます。そのため、宝塚市から受託していた「若者就労支援事業」に加え厚生労働省より「地域若者サポートステーション事業」を受託し、宝塚市に「宝塚若者サポートステーション」を開設します。キャリアカウンセリング、心理カウンセリングの他近隣の高校や大学と連携を図りながら中退予防に取り組むなど、地域の将来を担う若者を支援します。

③ 地域づくり事業

「ひょうごアドプト推進事業」を兵庫県阪神北県民局から受託し、管内の活動団体とともに地域の環境美化と活動を通じた地域づくりを支援します。

「新しい公共事業」により2年間取り組んだ但馬地域のNPO法人等の起業支援と運営支援等は、緊急雇用事業として今年度も継続します。但馬地域は、人口減少、過疎化などの問題を抱える一方で、世界ジオパーク・温泉など多くの観光資源と、地域の人々の深い絆などの社会的資源にも恵まれています。これらの資源を有効活用した、地域活性とコミュニティビジネスの起業を支援すると同時に、但馬地域における中間支援窓口の強化と定着を目指します。

「東日本大震災被災者支援事業」として、東北地方から関西に避難された被災者を対象に

ネットワークづくり、就業支援などを実施します。

④ その他事業

啓発事業として講座、講演、情報提供等を行い、会員拡大を図ります。

ネットワーク事業では、第9回ソリオ宝塚ふれあい夏祭りを開催し、合わせて但馬・丹波と宝塚を結ぶ農産物の見本市を開催します。

(2) 事業実施の計画

① 市民参画事業

①宝塚市市民活動支援事業

目的	宝塚市内の市民活動が活性化し、「新しい公共」の担い手となり持続可能な活動になることを支援する。また、市民に対して市民活動入門講座等を開催し、まちづくりへの市民の参画を促す。
内容	NPO法人の設立・運営相談、コミュニティ・ビジネスの起業・経営支援、まちづくり協議会の自主財源確保に向けた支援、並びに行政との協働環境の構築に向けた検討業務等を実施する。 ・ 特定非営利活動法人の法人化支援 ・ 特定非営利活動法人運営相談 ・ 市民活動団体やコミュニティ・ビジネス等起業、経営支援 ・ まちづくり協議会の自主財源の確保に向けた支援事業 ・ 啓発講座、交流会運営 ・ 行政との協働環境構築に向けた検討事業 ・ シニア、団塊世代の地域参加事業
対象	宝塚市民
目標	・ 法人設立：5法人 ・ 法人運営実務：200回 ・ 市民活動団体等運営支援業務：20団体 ・ まちづくり協議会の自主財源の確保に向けた支援：3事業 ・ 市民活動入門講座：4回 ・ 市内NPO法人ネットワーク会議：3回 ・ NPO法人相談会：12回 ・ 協働環境構築に向けた研修・説明会：13回 ・ シニアの地域参加講座：2回 ・ 地域参加相談：随時

② NPO法人・コミュニティビジネス設立・コンサルティング・雇用創出事業

① コミュニティ・ビジネス等総合支援事業（生きがいしごとサポートセンター事業）

目的	<p>兵庫県民が起業支援や経営支援を通じて、生きがいを持って働ける場を創出し、阪神北地域のNPO／CB支援を通じて、活力あるまちづくりに寄与する</p> <p>また、無料職業紹介事業を通じて、生きがいのある働き方を希望する全て方の就業を支援する。</p> <p>特に、25年度はシニアや団塊世代が地域で活躍できるように意識啓発、適材適所マッチングをおこなう</p>
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ NPO、コミュニティ・ビジネスの設立支援 ・ 情報収集発信 ・ 就業希望者の能力開発・ 職業訓練 ・ コンサルティング事業
対象	兵庫県民
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 起業団体 24団体 ・ 雇用創出 300名 ・ 新規起業団体（団塊・高齢者） 10団体 ・ 新規起業相談者 100名 ・ 新規求職者 270名 ・ 情報講座 1回 ・ コミュニティ・ビジネス講座 3回 ・ 法人向け実務講習会 14回 ・ 定着循環講座 1回 ・ 団塊世代・高齢者向け講座 5回 ・ インターン実習 7回 ・ 専門家派遣 10回 ・ 就職相談 随時

②地域若者サポートセンター事業

目的	<p>現代の若者が抱える自立や就労の問題をキャリア相談や心理相談、社会体験事業などから解決の糸口を導き出し、就労につなげる。</p> <p>宝塚市から受託の「職場体験付き若者就労支援プログラム」では就労未経験、人との交流が苦手な方、長期離職／フリーターなど、就労に課題を抱える若者を対象とした進路選択・求職活動に役立つプログラム（職場体験を含）を提供することで、若者の就労に結びつける。</p> <p>厚生労働省から受託の「地域若者サポートステーション事業」では、就労に不安を抱える若者に各種相談、セミナーなどを実施し就労に結びつける。また、高校と連携して、高校の中退予防に取り組みながら、中退した学生に対しては就労支援や学び直しの支援等を実施する。</p>
内容	<p>就労支援セミナー</p> <p>職場体験セミナー</p> <p>その他各種セミナー</p> <p>心理相談</p> <p>キャリア相談</p>
対象	15～39歳までの就労に課題を抱える若者
目標	400名（登録者）80名（就業・就学・訓練）

③宝塚市職場体験付就労支援事業

目的	<p>宝塚市「職場体験付き若者就労支援プログラム」を実施。就労未経験、人との交流が苦手な方、長期離職／フリーターなど、就労に課題を抱える若者を対象とした進路選択・求職活動に役立つプログラム（職場体験を含）を提供することで、若者の就労に結びつける。</p>
内容	<p>オリエンテーション</p> <p>就労支援セミナー</p> <p>実習前セミナー</p> <p>2週間の職場体験セミナー</p>
対象	15～39歳までの就労に課題を抱える宝塚市内の若者
目標	15名

③ 地域づくり事業

① ひょうごアドプト推進事業

目的	阪神北県民局管内のアドプト活動団体の事務局を県民局と協働で担い、円滑な活動を手助けすること通じ、阪神北県民局管内の市民活動の活性化を図る。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・活動状況の把握 ・アドプト活動に対する協力企業の開拓 ・団体間ネットワーク構築 ・活動地域への啓発活動
対象	伊丹市・宝塚市・川西市・三田市・猪名川町の住民
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・活動状況の把握 30団体 ・アドプト活動に対する協力企業の開拓 5企業 ・団体間ネットワーク構築と啓発活動のために、イベントを開催

② 生きがいしごとサポートセンター全県展開事業（但馬地域）

目的	生きがい仕事センターが未設置である但馬地域において、出張相談や出張セミナー等を実施することにより、但馬地域における起業・就業支援の体制を強化し、活力ある地域づくりにつなげる。同時に但馬地域における中間支援窓口の強化と定着を図る。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・主に豊岡市民プラザを拠点とした相談、情報提供の実施 ・コミュニティビジネス・実務講習会の開催 ・高齢者や女性向けのCB起業事例集の作成
対象	但馬地域（豊岡市、養父市、朝来市、新温泉町、香美町）の住民
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新規起業団体 5団体 ・高齢者や女性向けのCB起業事例集の完成

③ 東日本大震災支援

目的	東日本大震災によって、関西に避難した母子避難者たちのネットワーク構築とコミュニティづくり。避難者の経済的な負担の解消。
内容	東日本大震災によって、関西に避難した母子避難者たちのネットワーク構築とコミュニティづくりとして、交流会を開催する。経済的負担の解消として、就業支援や起業支援も行う。
対象	東日本大震災で関西に避難された方
目標	<ul style="list-style-type: none">・お茶っこカフェ開催 12回・SNSを用いたネットワーク構築・生活相談 随時

④その他事業

①啓発事業

目的	市民活動の動向を捉え情報発信を行い、NPOセンターの活動を広く社会に伝えることで、NPOセクターの理解者を増やす。
内容	<ul style="list-style-type: none">・情報提供・講演・視察受け入れ
対象	一般市民・市民活動団体

② ネットワーク事業

目的	NPOと地縁団体との協働事業を通じて、新しい地域づくりを目指す
内容	<ul style="list-style-type: none">・ソリオ宝塚自治会事務局・ソリオ宝塚ふれあい夏祭り事務局
対象	一般市民・市民活動団体